

取扱説明書

土入れ機

ST19B



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。

土入れ機 ST19B を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

はじめに

- この取扱説明書は、土入れ機 ST19B の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。
- お読みになった後も必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合、速やかに当社にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買い上げいただきましたお店、またはお近くの特約店・販売店・J Aにご相談ください。
-  マークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。
- 「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。

目 次

はじめに

1. 安全上のご注意	3
2. 安全銘板の貼り付け位置	5
3. 本機の使用目的について	5
4. 各部の名称	6
5. 仕様	6
6. 作業前の準備	7
7. 各部の調節	8
8. 運転及び操作	9
9. 手入れ・保管上の注意	9
10. 回路図	9

1. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用前にお読みいただき、必ずお守りください。

 警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負うおそれがあります
---	------------------------------

 注意	取扱いを誤った場合、傷害または物的損害が発生するおそれがあります
---	----------------------------------

	してはいけないことを示します
---	----------------

	必ずしなければいけないことを示します
---	--------------------

使用環境について

 警告	
	子供には充分注意し、本機に近づけない ケガの原因になります
	次のような場所では使用しない 不安定な場所/傾いた場所/水のかかる場所/火器の近く

電源について

 警告	
	電源プラグは根元まで確実に差込む 感電やショート、火災の原因になります
	AC100V 電源のコンセントを単独で使う タコ足配線をしないでください 火災や漏電の原因になります
	電源コードや電源プラグを傷つけない 傷ついた電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わない 断線や感電の原因になります
	電源プラグは濡れた手で抜き差ししない 感電の原因になります
	コンセントから抜くときは電源ケーブルを持たずに電源プラグを持って抜く 感電やショート、火災の原因になります
	電源プラグにほこりが付着している場合はよく拭き取る 火災の原因になります
	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く お手入れや点検・整備の際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください ケガや感電、落雷による故障の原因になります
	作業中停電した場合は、電源プラグをコンセントから抜く 通電時、急にまわりだしケガや事故の原因になります

取扱いについて

⚠ 注意	
	異常、故障時には使用を中止する 故障や破損、事故の原因になります
	改造をしない 故障や破損、事故の原因になります
	他製品のアタッチメントや誤った部品は取付けない 故障や破損、事故の原因になります
	他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し取扱説明書をよく読むよう指導する また、取扱い方法を十分に理解していない人には本機を貸さない 事故の原因になります
	次のときには本機を使用しない <ul style="list-style-type: none">・ 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき・ 酒類を飲んだとき・ 妊娠しているとき・ 18才未満の人 事故の原因になります
	作業に適した服装をする 袖や裾の締まりのよい服装をしてください 手ぬぐいやタオルを頭や首に巻いて作業しないでください 回転部に巻き込まれ事故の原因になります
	2人以上で作業する時は、お互いに合図しながら機械を始動する 事故の原因になります
	ベルト、プーリーなど動いているすべての部品に手を近づけない ケガや事故の原因になります
	カバー類は必ず取付ける 点検・整備などで取外したカバー類は必ず取付けてください ケガや事故の原因になります

手入れ・保管について

⚠ 注意	
	点検・整備を行う 機械を使用する前後には必ず点検・整備を行ってください ケガや事故、機械の故障の原因になります
	電機部品には絶対に水をかけない ケガや事故、機械の故障の原因になります

2. 安全銘板の貼り付け位置

安全に作業をしていただくために安全銘板の貼り付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しく貼り直してください。



紛失または破損された場合には、当社へ下記の表を参考にご注文ください。

No	部品番号	部品名称
(1)	0092-40130	注意ラベル CL-10

3. 本機の使用目的について

本機は、育苗箱への土入れ作業機としてご使用ください。
目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。

4. 各部の名称



5. 仕様

型 式	ST19B	
機 体 寸 法	全 長	1645mm
	全 幅	455mm
	全 高	850mm
重 量	24.2kg	
動 力	25W/AC100V	
ホッパー容量	23ℓ	
土入れ量	2.9~3.2ℓ/箱(18~20mm厚)	
土均し方式	回転ブラシ	
能 力	120箱/時(50Hz), 144箱/時(60Hz)	

6. 作業前の準備

6.1 脚の組立

折りたたまれている脚を立てて、バネ平組込六角ボルトでしっかりと固定してください。

6.2 延長ステー

延長ステーは写真のように倒して使用します。



6.3 本機の設置

平坦な場所を選び、本機を設置します。本機の高さ調節ボルトを回して前後左右の水平をとります。



注意

設置が悪いと育苗箱が片寄り、土入れムラの原因になりますので注意してください。

6.4 培土

床土に使用する培土は、水分が少ない人工粒状培土をご使用ください。人工粒状培土以外の培土を使用すると本機の性能が十分に発揮されません。

6.5 育苗箱

育苗箱はできるだけ同じ種類のもので、「ソリ」、「ネジレ」のない箱を使用してください。育苗箱の種類が同じものでない場合は、箱の高さで選別してください。箱の高さが異なると本機の再調整が必要です。

7. 各部の調節

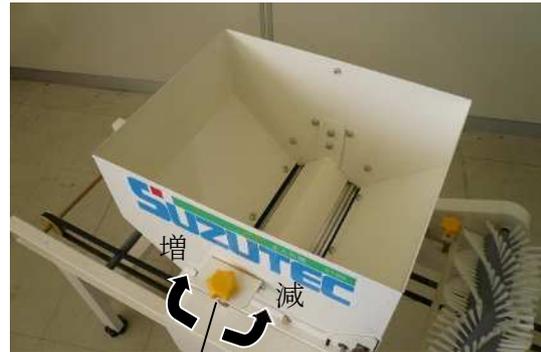


注意

調節の際は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
回転部に巻き込まれるなど、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

7.1 床土量の調節

床土量の調節は、ホッパーの側面にあるツマミで調節してください。(左右)
調節ツマミを右に回すと、床土量が多く出ます。左に回すと、床土量が少なくなります。床土量の目安は、回転ブラシで軽く表面をならす程度です。
多く出しすぎると回転ブラシで持ち返りが発生する場合があります。



床土量調節ツマミ

7.2 回転ブラシの調節

回転ブラシの調節は、育苗箱の種類により箱の高さが異なりますのでご使用する箱に合わせてください。
床土のカキトリ量は回転ブラシの両側についている調節ツマミを回して行います。左右の高さが同じになるよう調節してください。
出荷時は、高さ 38 mm の育苗箱が箱の上面より 10 mm の深さでカキ取ることが出来るようにセットしてあります。

回転ブラシ高さ調節ツマミ



注意

作業場の気温が低い時は、回転ブラシの毛が固くなり、最初と最後の箱が回転ブラシを通過しない場合があります。その時には手で育苗箱を送り出してください。
(12 mm 以上カキトリした時に多く発生する場合があります。)

8. 運転及び操作



注意

電源電圧は AC100V±5V を安定して供給してください。
適切な電源電圧でないと、故障や動作不良の原因となります。

- (1) 電源スイッチが「OFF」になっていることを確認し、電源プラグを AC100V のコンセントに差し込みます。
- (2) 「スイッチ」を「ON」にし、動きを確認してください。
- (3) 「スイッチ」を「OFF」にすると、全てが停止します。

9. 手入れ・保管上の注意

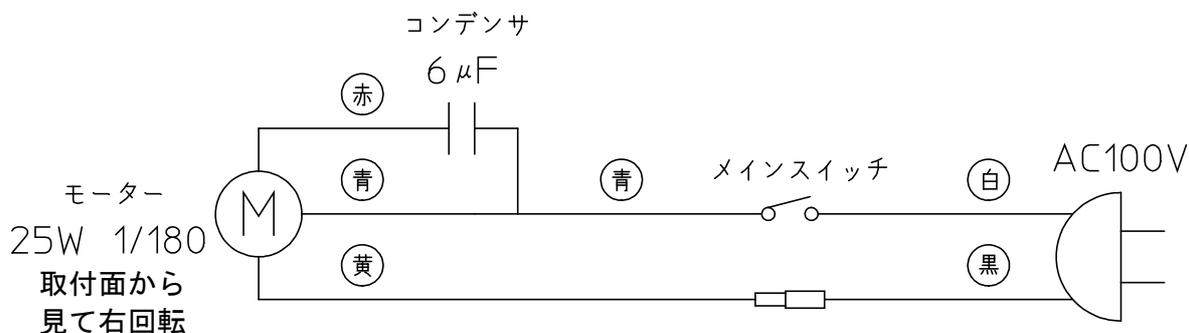
9.1 手入れ

- (1) 水洗い
水洗いをする場合は、電源プラグをコンセントから外し、モーター、スイッチへの放水はしないように注意ください。
- (2) 給油
洗浄後、よく乾かしてから、回転部（搬送コンベア軸受部、床土ホッパー軸受部）、ローラーチェーン（床土ホッパー部、回転ブラシ部）などへ必ず給油してください。

9.2 保管上の注意

- (1) 本機はプラスチックやVベルトを使用していますので、直射日光を避けたところに保管してください。
- (2) 雨を避け、平坦なところに保管してください。
- (3) Vベルトは、ベルト張り金具を緩めた状態にしてから保管してください。ベルトの伸びやくせを防止することができます。
また、Vベルトを張るときは、片側約 5kg ぐらいで左右同じように張ってください。

10. 回路図



実り豊かな明日をひらく

株式会社 スズテック

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地 44-3
代表／TEL. 028(664)1111 FAX. 028(662)5592
URL. <http://www.suzutec.co.jp>